

令和7年度 第1回帯広市緑化審議会 議事録（概要）

- 1 日 時 令和7年8月28日（木）14：00～15：15
- 2 場 所 帯広百年記念館2号室
- 3 出席委員 橋本委員長、天内委員、磯野委員（職務代理者）、小原委員、駒井委員、嶋宮委員、清水委員、蔦井委員、土井委員、合歓垣委員、萩原委員、藤平委員 12名
（欠席：鎌田委員、長谷川委員、廣瀬委員 3名）
- 4 事務局 篠原部長、大橋参事、黒野土木室長、岡田環境室長、鈴木道路維持課長、大橋みどりの課長、涌井みどりの課長補佐、中島都市政策課長補佐、上川原みどりと花の係長、吉村主任、盛主任補、奈良主任補、武藤主任補、林主任補、鍋島係員、佐々木係員

5 議 事

【報告事項】

- ・ 帯広市の緑化に関する取組みについて
- ・ 緑ヶ丘公園エリアビジョンの策定及び今年度の取組みについて
- ・ 緑化の取組みに係る町内会負担軽減について

6 議事概要

【報告事項】

- ・ 帯広市の緑化に関する取組みについて

（事務局から内容説明）

委 員：帯広市の公園内で、キッチンカーの利用が増えているとのことだが、どの辺りでキッチンカーが出ているのか。

事務局： 出店場所としては、緑ヶ丘公園が多く、令和5年度では18件の出店のうち、14件が緑ヶ丘公園、4件が南公園、令和6年度については18件のうち、緑ヶ丘公園12件、南公園4件、帯広の森1件、十勝川水系緑地1件である。令和7年度はすでに21件の申請があり、キッチンカーの需要が広がってきていることと、緑ヶ丘公園の児童遊園で新たにキッチンカーを出店するという実証実験も行っており、そういったことも要因であると考えている。緑ヶ丘公園においてキッチンカーを出店している場所は、グリーンパーク横のまっすぐの径のグリーンプラザ側が多い。

委 員：現在の売店・ボートの利用人数は。

事務局：6月は、ボート20人、売店2人。7月は、ボート68人、売店0人。

委員：帯広の森の植生調査は20年以上行われているが、グラフ化するなど市民にとってわかりやすい結果の示し方を検討してほしい。

委員：帯広の森ファーストトイ事業において、森のわっこを配布する際は、これから公園で子どもを遊ばせる保護者にとって知りたいであろう、公園の情報なども提供する検討をしてほしい。

・ 緑ヶ丘公園エリアビジョンの策定及び今年度の取組みについて

（事務局から内容説明）

委員：児童遊園のトイレは、ジメジメしている、暗い、床がいつも湿っているなどの保護者から評判が悪く、中を明るくしてほしいという声があった。また、多目的トイレは、鍵の位置が低いので、子どもが勝手に開けてしまうので、高い位置にも鍵をつけるなどの工夫が必要ではないか。

委員：多目的トイレは、通常、体の右側にトイレトペーパーが設置されているが、多目的トイレを使用する障害者の中には、右半身が不自由な方もいる。そのような方がいることも踏まえて、トイレトペーパーを左右両側に設置するなどの検討をお願いしたい。

委員：少年院跡地の検討状況は、現状、どのようになっているのか。

事務局：少年院跡地は、現在、法務省の管轄だが、今後、財務省に移管するに当たっての手続きを国が進めている状況。今後、国で少年院跡地の活用について検討したのち、国において活用する見込みがなければ自治体に活用について照会するという流れになる。

・ 緑化の取組みに係る町内会負担軽減について

（事務局から内容説明）

委員：どこの町内会も高齢化と役員のなり手不足により、草刈りやごみ拾いを負担に感じているので、市に管理を戻したいという意見が出ているところもある。

委員：町内会が公園の管理をするという形は、今後、難しくなってくるものと思われるが、帯広市では、公園の管理の方法について、大きく方向性を変えるという考えはあるのか。

事務局：3月に町内会の負担軽減に係る取組方針が示されたところ。今後は、町内会と意見交換をしながら、持続可能な町内会活動の推進につながるような負担軽減策の検討を進めていく。